

■潮来市第2期人口ビジョン・総合戦略ヒアリング及び若手職員WSまとめ

項目	意見概要
現在の潮来市に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○店舗の閉店や人口減少など、まちの賑わいが失われている。 ○市内に若者が行きたい場所、集まる場所がない。 ○近年、外国人観光客が減少しているとともに、外国語対応が遅れている。 ○観光来訪者の属性や方法が多様化、広域化している。通年型の観光地づくりが求められている。 ○高速バスがあるので、交通利便性はよい。
将来の潮来市に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○祭り、地域産業、地域コミュニティの担い手不足。 ○人口が減少していくと不便になり、一層転出が進むのではないかと心配する声も聞かれる。 ○外国人は増加する可能性がある。
外国人の視点から	<ul style="list-style-type: none"> ○市民との交流機会が少なく、外国人同士の交流が中心になっている。 ○外国語を学ぶならば、できるだけ早いうちから取り組む必要がある。
市外の視点から	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信が弱い、外から潮来市を調べようと思うと情報がない。 ○現状で満足し、新しいことをやってみるという雰囲気弱い。 ○今あるものを大切しておくことで、将来価値が生まれる可能性もある。
産業の視点から	<ul style="list-style-type: none"> ○事業を継承するにも、観光地としての基盤づくりが必要。 ○観光行動が広域化しており、潮来だけではツアーが組めない。
創業者の視点から	<ul style="list-style-type: none"> ○事業資金を得る際に担保が必要な融資が多く、資金調達先が限定される。 ○市内での創業者に対しては、行政が支援してくれるとよい。
将来の居住意向	<ul style="list-style-type: none"> ○成人式実行委員会の定住意向は高い。 ○産業分野では、跡継ぎがいても継がせていいか迷うという意見もある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○情報技術の発達により、働き方、地域や街のあり方、住み方が変わる。 ○AIの導入が進むことによって、働く場所が少なくなるのではないかと懸念される。

対 象 外国人研修生，ALT 講師

■日本に来て困ったこと

- みんな親切なので特にない。研修生を受け入れるにあたり、工場内でも言葉に困ることはあるので、コミュニケーションが不十分になることに気を遣う。
- 須賀南に住んでいて自転車で通っている。自転車を利用する環境は良くない。道路が狭く走るスペースがない。国道 51 号は車も通り、道路も狭いうえにガタガタで走りづらい。
- 普段は市内の ALT 4 人で集まることが多い。潮来市には、同じくらいの年齢の人がいない。ダウンタウンのような賑わいのある場所もない。駅前にピザ店があるだけ。
- 潮来市は安全なところだと思うが、夜はとても暗い。穏やかな暮らしをするにはいいと思うが、若い人は満足しないかもしれない。
- 東京に行くこともある。高速バスを利用している。1 時間くらいで行けるので便利。水戸にいる友人は 3 時間くらいかかるので、それと比べると東京に近くてよい。

■外国人研修生の受け入れにおいて望まれる行政支援

- 日本語の取得支援。津知公民館で日本語の勉強をしてきている。他の事業所でも困っているところがあるので、もう少し力を入れて欲しい。津知公民館では、国際交流協会の方で日本語教室を行っている。せっかく日本に来てもらったので、日本語が話せるようになって帰って欲しい。
- 市内の外国人は増加している。最近ではスリランカが多いと聞いている。これから増えると思う。ベトナムに送り出し機関があって募集するが、相当な人数が集まってくる。
- 言葉が通じないことがあるので、災害等の情報が分からない。スマートフォンを持っているので、それを使って情報提供ができればよい。

■英語教育について

- 英語はできるだけ早く学び始めた方がいいと思う。会話することや聴き取ること、発音は、耳から入ってくるものなので、7 歳以前から学んだ方がいいと思う。特に発音は難しい。英語を教えたいという情熱をもってやっている。小学校から英語を学ぶことは良いと思う。

対 象 おまつり委員会

■活動概要

- お祭り委員会はお祭りのことを勉強して発展させたいというのが目的。お祭りを観光資源にしたいと考えている。宗教的な部分とは別に広報や物産展の開催で盛り上げている。
- 年齢層は、各町内から出ている人は 40 歳が若い方。頭が終わったら来るので早くても 30 歳過ぎ。会としての平均は 50 歳くらい。

■祭礼の継承についての課題

- 人口減少や高齢化はお祭りにも影響がある。やる人も見てもらわないと盛り上がらない。
- お祭りに参加する人は、近隣市町村からも来ている。現在では外部からの人が多い。下座の構成をみると、現在下座を町内でできるのは、上町と三丁目だけ。あとは町内の下座はいない。
- 佐原をみると人を呼ぶことまで含めておまつりにして、観光資源として積極的に活用している。潮来では祭礼に関する組織の全体像が見えづらいのが現状。
- 組織化して潮来らしいルートを作り直す。それを設定して区長会に働きかける必要がある。

- 人口が減少しているので、浜一丁目では、あと 10 年くらいでできなくなるのではないか。祭りをやるのに 160 万円かかるが、100 万円程度しか集まらない。結果としては集まっているが、なんとか集めているのが現状。

■観光資源としての活用について

- 観光資源として活用することは良いと思う。潮来では、あやめ祭りと合わせると流れができると思うので、潮来祇園祭禮と他の観光イベントを合わせることが必要。

対 象	成人式実行委員会
-----	----------

■潮来市に期待すること

- 住みたいという愛着がある人もいるが、外の方がいい仕事があり、仕事の面で潮来にいられない人もいる。インターネットで潮来に住みながら東京の会社で仕事をしている人もいるので、そのような仕事を行政で斡旋できればと思う。
- もっと働きやすい環境を整備してほしい。業種も多くして欲しい。
- 休みの日娯楽がない。休日は潮来でなく東京や千葉などに行く。ご飯も神栖になった。楽しい休日を過ごせる場所が欲しい。

■将来に向けて不安なこと

- 人口が減ると、若い人がいなくなって若い人の盛り上がりがなくなる。
- 近所づきあいで行ける店、家庭的な店がいいところと感じている。住みやすいところなので、それがなくなるのが不安。納税する人が少なくなったら負担が重くなる。

■人口が減ったらどうなるか

- 若い世代が減って小中学校が統合されていくと、若い世代の選択肢が減るのではないか。
- 活気がなくなるし、住もうとする意識にも影響が出る。人がいないなら住みたいとは思わない。
- 人口が少なくなると税負担が多くなると、市に居たくなくなる人が増える。さらにどんどん少なくなっていく。悪循環になるのではないか。

■地域の行事や活動への参加

- お祭りを通じて、地域や違う世代とも交流することがあるので、それはよいことだと思う。
- お祭りは 60 歳以上の人と関わる貴重な機会。社会的なことは学べる。

■20 年後どんな暮らしになっているか

- 現在も正規雇用が少ない。これからもっと減ると思うが、人工知能を導入していった方がいい、窓口業務をやっていてそう感じる。
- 自分の足で買いに行くことは少なくなるのではないか。インターネット購買を利用することが増える。
- レジに人がいなくなっている。これから働く場所が少なくなるのではないか。地域で仕事を作る必要がある。
- 外国人がもっと増加する。日本人が少なくなると、外国人が自分たちの生活を持ち込む可能性があり、住みづらくなるのではないか。

■潮来の印象（前と後）

- 初めて来たが、思ったよりも田舎の感じはしない。日用品はいいが大きい買い物は市外になるので車がないと不便な印象。
- 高速バスもあって東京にも近い印象があるので田舎感もあまりない。いいところがあるのに、情報を外に出そうとしていないし情報量が少ない。住まいをどこにするかと調べる中で潮来市やお店の情報がない、それで大丈夫かなと思ったことはある。

■20年後の暮らしの変化

- 情報技術が発達するので、家から出る人と出ない人の両極端のスタイルになるのではないか。家の中でテレワークする人と人対人の仕事をする人。後者は不便を楽しむというようなライフスタイル。
- 何でもできるような環境になると思う。全てが家で完結する。人と交流することは必須ではなくなり、人に対する関心もなくなる。より閉鎖的な世の中が変わっていく。市役所もなくなる手続きなどはロボットがやるようになる。AIが発達すると人がやるのがなくなる。働くという概念も変わるかもしれない。

■そのような中での地域の存在

- ベットダウン的な存在。土地が安くて家があるだけ、買い物はインターネットでできる。別荘のような感じかもしれない。例えば生活の拠点を水戸市にしたとしたら、よく千葉に行くことがあるから、その途中の潮来に住むという感覚。自然災害のことを考えると生活の場所とは別に暮らせる場所がある方がよい。
- 住むだけの地方になるのでは、地価も安いので倉庫・物置の位置づけ。今、以上に一極集中が進むとともに、インターネット通販が発達するので、そのための倉庫を置いておく場所。
- 街は、これまでのようないろいろな機能があるのではなく、その土地ごとに単一の機能を担うようになるのではないか。
- 働き方も在宅ワーク、コワーキング、アドレスフリーが増加する。個人個人でやる仕事は増えるけれど、突き詰めると誰かに会いたいということに戻るかもしれない。結果としていい方向に循環する？
- 今あるものをもっておいた方がいい、東京の要素を無理やり取り入れると中途半端になるので、現状を維持しておくことで、後でこのままで良かったということになるかもしれない。そのために子どもに地域のことを触れさせる取り組みや情報発信が重要。

■地域おこし協力隊で活動して感じること

- 情報発信でいうと、地域のことを自分たちのものだけにしようとしている感じがある。その他にあきらめ感、やってみてどうなるかという意識。市民の意識も温度差がある。現状で満足している人と現状ではいけないと思っている人、あやめ祭りも、賑わっているからいいよねという人と、それではいけないという人もいる。それを表立っては言わないのが現状。
- 新しいことをやっていいよという雰囲気ではないのかもしれない。これまでのものを継続しているという雰囲気が強い。

対 象	市内観光・飲食等経営者
-----	-------------

■観光客の状況

- 以前と比べて、ホテルの外で食事をする方が多くなった気がする。バスで来る人が増えている。商店街組合やサークルなど、高齢のグループがインターネットで調べて来るようになっている。
- 神社仏閣への関心が高まっており、東国三社巡りツアーなど神社めぐりが増えた。

■外国人観光客の状況

- 外国人観光客は補助金がなくなってから減った。バスで来る外国人観光客はいない。外国人観光客の受け入れは、全体的に賛成だが最近見なくなっている状況。
- 観光案内や個店での多言語表記は進んでいない。言葉の問題の対応が必要。

■事業承継

- 後継ぎはいるが仕事量がない。売り上げもない。土産物店は船が来ないと売り上げができない。あやめ祭りのウェートが大きいので、その時期に来ないとダメージが大きい。
- 後継者はいる。来客数が平準化されていないため、売り上げが安定しない。地域の観光の土台をきちんとすることが必要。活気がないとやる気も出ない。
- 後継者はいるが継がせていいのかと考える。現状では観光客がたくさん来ている。地域で1軒だけの酒蔵で代々続けているがどうなるか、人口減少の中で悩んでいる。輸出もアメリカ、韓国、シンガポールなどに行っている。国は推奨しているが、儲かっている会社が少ない。

■市内の中小事業者支援に必要なこと

- 外国語対応に対する支援。
- 魅力あるまちづくり、人が来ないと意味がない、潮来に行ってみたいという魅力を創りたい。
- 船頭さんの後継者問題。高齢化が進んでいる。船頭の若返りと後継者確保が必要。人力車も同じ。
- 嫁入り船のやり方も検討できないか。お客さんの動線処理の上でもまずい。もったいない感じがする。

■将来の不安

- スーパーがなくなって不便に、空き家が増えてイメージが悪くなっている。アイモアをなんとかする必要がある。地元のスーパーがなくなったのが印象的。
- 潮来だけではツアーが組めないようになっている。高速が延伸されると通過されるだけになる。道の駅の整備も必要。

対 象	起業・創業者
-----	--------

■創業経緯

- アイモアに25年勤務。創業塾で学んだあと、実際にやってみようということで平成28年5月に起業（飲食・配食）。
- 起業にあたり、商工会経由で日本政策金融公庫に設備と運転資金を借り入れ。その他、紹介を受けた市中金融機関からも融資を受けている。保証人や担保を求められるので、保証人が不要という融資しか検討できないのが現状。
- 事業を始めてみると、誰にも縛られることなく自分の裁量でチャレンジできるのはいいが、

金銭的な悩みはある。

■起業するにあたってあればいいと思う支援

- 創業塾を卒業して起業した人を対象に，起業から半年くらい広報紙の広告スペースに広告を掲載させてくれるとよい。半年くらいやれば認知度が高まると思う。起業したての頃は費用をかけることに億病になるので，そういう支援があるとよい。

■創業支援塾

- 創業支援塾を卒業してからは，個別に相談はできるが塾としてのフォローアップはない。塾生同士の横の連携もない。まとまった声として行政に要請したりできるとよい。お互いに宣伝できるようになると良いかなと思う。

■潮来市第2期人口ビジョン・総合戦略策定にかかる若手職員用作業シート（まとめ）

項目	2019年（現在）の状況についての認識	2030年の予想	2040年の予想
潮来市の課題	<p>市民生活 (民生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 区の会合に出席したくない若い人がおり年配者だけの区会 <input type="checkbox"/> 区への加入率 <input type="checkbox"/> 市役所や観光地が多言語に対応していない <input type="checkbox"/> 手続きが煩雑 <input type="checkbox"/> 生活困窮者の増加 <input type="checkbox"/> 移住定住 <input type="checkbox"/> 下水の接続率が良くない <input type="checkbox"/> ニーズの多様化 <input type="checkbox"/> 各地区公園の整備 <input type="checkbox"/> 交通手段がない <input type="checkbox"/> 医療機関・交通手段がない <input type="checkbox"/> 閉店している店が多い、働く場所が少ない(市外に働きに行く人が多い) <input type="checkbox"/> 地域公共交通に問題があると考えている。公共交通の必要性が高い人に対して公共交通を整備する必要がある <input type="checkbox"/> 移動手段が少ない <input type="checkbox"/> アイモア、大黒天がなくなる <input type="checkbox"/> 商業施設が少なく不便 <input type="checkbox"/> 市民に潮来市の魅力に気づいてもらいたい <input type="checkbox"/> 様々な出会いの場を提供していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 行政サービスの水準の維持 <input type="checkbox"/> 多言語表記を進める <input type="checkbox"/> 情報連携が進む(マイナンバー普及) <input type="checkbox"/> AI化 <input type="checkbox"/> 医療費の増加 <input type="checkbox"/> ディスポーザーの普及、ゴミ処理費用の減少 <input type="checkbox"/> 潮来バスターミナルのり弁性を活用した公共交通体系を整備する <input type="checkbox"/> 高齢者が増えてきて、公共の交通手段が少ないことで困る人が増える <input type="checkbox"/> 移動手段がなくなる高齢者が増える <input type="checkbox"/> お店の数が少なくなり働く場所もどんどんなくなりそう <input type="checkbox"/> 商業施設が少ない <input type="checkbox"/> 歴史ある飲食店、企業の減少、若年・子育て世代向けの増加が課題 <input type="checkbox"/> 核家族の増加で生活力の不安定。カウンセリングなどの支援の子育てを含めて時間の制限なく気軽に相談できる場 <input type="checkbox"/> 高齢化でバス利用者の増加→需要と供給のバランス 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 住民税が減る <input type="checkbox"/> 行政サービスの低下(税込減により) <input type="checkbox"/> 多様なニーズが求められる中、職員人員減少、多忙 <input type="checkbox"/> 社会保障制度の大幅な変革期 <input type="checkbox"/> 公共施設の維持管理、委託 <input type="checkbox"/> クリーンセンター統合 <input type="checkbox"/> ごみ処理の仕方が変わる <input type="checkbox"/> 移動面での生活困窮者が問題になる <input type="checkbox"/> 公共交通需要を増やしていきサービスレベルを上げていく <input type="checkbox"/> 医療機関が足りない <input type="checkbox"/> 出生増加対策 <input type="checkbox"/> 買い物などがしやすく若い人が住みやすい
	<p>活力・賑わい (産業・観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地元産業の衰退 <input type="checkbox"/> 数々のイベントがあるが集客力が低い。情報発信の方法 <input type="checkbox"/> イベントの開催を知らない人もいる <input type="checkbox"/> 専門職がない <input type="checkbox"/> 観光の目玉が少ない <input type="checkbox"/> あやめ祭り以外の目玉イベントがない <input type="checkbox"/> あやめ祭りにのみ頼りすぎている <input type="checkbox"/> 水のスポーツ(ボート・カヌー)PR不足 <input type="checkbox"/> 主力観光のあやめ園が老朽化している <input type="checkbox"/> あやめ祭り、農業 <input type="checkbox"/> 農業者の人口減少 <input type="checkbox"/> 地域産業の知名度が低い <input type="checkbox"/> 宿泊施設、数は多いが値段が高い <input type="checkbox"/> 企業誘致、法人税少ない <input type="checkbox"/> オールシーズンの企画で年間を通して環境を楽しんでもらえるようにしていく <input type="checkbox"/> あやめ祭りの時期のみ賑わっている <input type="checkbox"/> あやめ祭り潮来祇園以外の行事参加は高齢が多く若い世代が少ない <input type="checkbox"/> あやめ祭り以外の活気がない <input type="checkbox"/> あやめ祭り・潮来祇園時期の賑わいは良い <input type="checkbox"/> 経済の活性化 <input type="checkbox"/> 産業の活性化と都市基盤整備の推進を一体的に進める必要がある。観光についても観光客と地域の交流を進めていく必要がある <input type="checkbox"/> 年間行事は多いが若い人の参加が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 専門職を採用する→保存と開発の両立 <input type="checkbox"/> 通年型のイベント <input type="checkbox"/> 縮小・撤退する企業の増加 <input type="checkbox"/> 観光地の環境整備が滞る <input type="checkbox"/> あやめ園の維持が難しくなる <input type="checkbox"/> 高齢者増加→ITを通じた広報が限界 <input type="checkbox"/> 観光客数の減少 <input type="checkbox"/> 市街化の空洞化 <input type="checkbox"/> 婚活イベントに若い人を呼んでもっとフラットな感じにする <input type="checkbox"/> 若い人が少なくなり、文化・産業など引き継ぐ人がいるのか <input type="checkbox"/> 観光客の減少 <input type="checkbox"/> 若い人が行事に参加しづらくなる。参加する人も減り活力・賑わいが減る <input type="checkbox"/> 既存のイベントの規模が縮小していく <input type="checkbox"/> ニーズに合わせて産業・土地利用・道路環境を整備する。観光に関してもニーズに合わせて地域交流を深める <input type="checkbox"/> イベントの周知方法の課題 <input type="checkbox"/> 水辺を生かしたアクティブスポーツによる集客ができてほしい <input type="checkbox"/> 町内回覧のみでなく、学校を通して生徒宛に手紙。イベントを知ってもらい友達同士で多くの参加へつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> テレワーク <input type="checkbox"/> 総合博物館の整備 <input type="checkbox"/> アクティブ系イベントの増加による賑わいアップ <input type="checkbox"/> 農業が減少し、産業の賑わいがなくなる <input type="checkbox"/> 新しい観光地ができて賑わう中で働き手の確保など <input type="checkbox"/> 新しい観光スポットの創設 <input type="checkbox"/> 潮来市を訪れた人が住みたいと思える政策 <input type="checkbox"/> 若者が参加しやすいよう学校などで呼びかける。新しいイベントができてほしい
	<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 経営の深刻化 <input type="checkbox"/> 英語教育 <input type="checkbox"/> 生徒の減少、先生の不足 <input type="checkbox"/> ホストタウン <input type="checkbox"/> 地産地消(給食)の取り組み、郷土愛 <input type="checkbox"/> TTがない <input type="checkbox"/> 子供が少ない、先生の負担大きく先生になる人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ボート競技を通じて水郷への理解を深める <input type="checkbox"/> 潮来定着のためにも専門学校を作る <input type="checkbox"/> 他の学校と交流する機会を作る <input type="checkbox"/> 教員の質の低下 <input type="checkbox"/> 新しい働き方に対応した教育が必要 <input type="checkbox"/> 適正な学校の規模・配置 <input type="checkbox"/> 人数減少により競争力がなくなって学力が低下してしまうおそれ 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> クラウドを利用して自宅学習により通学回数が減る <input type="checkbox"/> 学校が減少したことで地域の運動会などがなくなる <input type="checkbox"/> 通学手段の確保 <input type="checkbox"/> 農業体験、その役割に気づいてほしい <input type="checkbox"/> 情報化社会への対応 <input type="checkbox"/> 子供が増えたときの子育て教育環境の対策 <input type="checkbox"/> 外国人への対応ができるよう英語の教育に力を入れる

	<input type="checkbox"/> 水郷地域であることを生かした教育に着手（ポート） <input type="checkbox"/> 幼保連携で合併→遠い <input type="checkbox"/> 子供の数の減少 <input type="checkbox"/> 新人教育は同年代が少ない環境として… <input type="checkbox"/> 小中学校の生徒数が少ない <input type="checkbox"/> 福祉施設や学校、地域が連携を取っていく。公立のみでなく私立に通っている子どもたちにも同じように提供していきたい。 <input type="checkbox"/> 小学校は人数が多すぎず教育に関し目が行き届いている <input type="checkbox"/> 学校によっては人数の開きが大きくなる <input type="checkbox"/> 子育て環境等を整え教育の充実 <input type="checkbox"/> 学校教育においては子供や若者が市内に残りたいと思える。家庭教育においては学校に求めすぎず地域全体で支援できるように整える	<input type="checkbox"/> 教育に関してもニーズに合わせ対応する <input type="checkbox"/> 特定の問題を抱えた子供の逃げ場がなくなる <input type="checkbox"/> 交流できる場をつくる、それぞれの成長につなげる <input type="checkbox"/> 地元の歴史や生産物の知識の普及 <input type="checkbox"/> 水環境の保全 <input type="checkbox"/> 住民の高齢化 <input type="checkbox"/> 医師確保事業補助金などで医師確保や施設の充実に努める <input type="checkbox"/> 地区の役割が減少、繋がりが薄くなる <input type="checkbox"/> 潮来市に住む人が減り、地域の繋がりが薄くなる <input type="checkbox"/> 若い人いなくなって活力がなくなってくる <input type="checkbox"/> 学区内での顔を合わせる機会、お年寄りの方との関わり	
地域	<input type="checkbox"/> 旧道が穴などでガタガタ <input type="checkbox"/> 都心に出やすい <input type="checkbox"/> 病院が遠い <input type="checkbox"/> 医療施設不足 <input type="checkbox"/> 買い物する場所、娯楽施設、医療機関の減少 <input type="checkbox"/> 歩道に穴や段差が多く通りにくい <input type="checkbox"/> 地域文化への理解が低い <input type="checkbox"/> イベントや行に参加する人数が少ない <input type="checkbox"/> バリアフリー化不足 <input type="checkbox"/> 若年転出者の増加 <input type="checkbox"/> 地域で助け合える環境づくり <input type="checkbox"/> 公園少ない、子供を気軽に遊ばせられない <input type="checkbox"/> 医師不足などにより地域医療体制が弱体化している中、その対策が課題となっている <input type="checkbox"/> 高齢者が多い <input type="checkbox"/> 地域ごとでの繋がりがもっとあると良い <input type="checkbox"/> 地域で区長などの役割の負担が増している	<input type="checkbox"/> 過疎化が進む <input type="checkbox"/> 高齢者がもっと増加 <input type="checkbox"/> 地域のつながりがもっと希薄になる <input type="checkbox"/> 高齢者の増加により介護等でもっと若い世代の負担が大きくなる <input type="checkbox"/> 空き家の増加、24h営業店の減少により犯罪増加 <input type="checkbox"/> 空き家の増加に伴い防犯対策 <input type="checkbox"/> 都市部への人口流入 <input type="checkbox"/> 老人ホームなどの施設が増え、ショッピングする施設があまり作られないと思う <input type="checkbox"/> 乗り合いタクシー <input type="checkbox"/> 医療機関の減少によりワクチン等が入手できなくなり感染症が増える <input type="checkbox"/> 病院が減少 <input type="checkbox"/> 店が減る <input type="checkbox"/> 核家族の増加 <input type="checkbox"/> 孤独死の増加	<input type="checkbox"/> 近隣市と合併 <input type="checkbox"/> 孤独死が増える <input type="checkbox"/> 独りにしないよう地区で会合を開く <input type="checkbox"/> 高齢者の出会いの場 <input type="checkbox"/> 外国人の増加 <input type="checkbox"/> 独居高齢者の増加 <input type="checkbox"/> 地域・近所のつながりを蜜にし、孤独死をなくす <input type="checkbox"/> 小規模な交通手段への助成 <input type="checkbox"/> 地域の交流の場の維持・継続 <input type="checkbox"/> 住民のほとんどが高齢者 <input type="checkbox"/> 地域の若者と高齢者が交流する機会を増やす <input type="checkbox"/> 医師の定着率を上げるため環境の整備をする必要がある <input type="checkbox"/> 地域のつながりがなくなる <input type="checkbox"/> 交通バスの利用、市民の利用しやすさ <input type="checkbox"/> 地域の人との交わりが少なくなり孤立する人がでてくる
この時、潮来市が力を入れるべきこと	<input type="checkbox"/> トイレがない <input type="checkbox"/> 公共交通 <input type="checkbox"/> 地域のつながり不足 <input type="checkbox"/> 転出する若者が増加 <input type="checkbox"/> 空き家の増加 <input type="checkbox"/> 高齢者増加 <input type="checkbox"/> 働き口が少ない <input type="checkbox"/> 若い人向けのお店が少ない、遊べる施設が少ない	<input type="checkbox"/> 水辺の環境の整備（健康づくり） <input type="checkbox"/> 公共交通の整備 <input type="checkbox"/> 高齢者の健康づくり <input type="checkbox"/> 伝統業の継承 <input type="checkbox"/> 子供と高齢者のふれあいの場を作る <input type="checkbox"/> 他市病院までの交通整備 <input type="checkbox"/> 住宅街の集約 <input type="checkbox"/> 総合病院の誘致 <input type="checkbox"/> 公衆トイレを設置する <input type="checkbox"/> 道路・歩道の整備 <input type="checkbox"/> 住宅街の集約 <input type="checkbox"/> 民泊 <input type="checkbox"/> アウトドア、ファーム、キャンプ場の誘致 <input type="checkbox"/> 潮来市の売りである水辺の環境の整備 <input type="checkbox"/> 市の魅力発信方法検討→若い世代に興味を持ってもらう <input type="checkbox"/> 外国人観光客の増加推進 <input type="checkbox"/> 各家庭の負担を抑え、まとまりを感じる行政の構築 <input type="checkbox"/> 自動運転車を利用した高齢者の移動手段確保 <input type="checkbox"/> 住み続けたい、出身の潮来に戻ってきたいと思えるような全ての人にやさしいまちづくり <input type="checkbox"/> 高齢者も若い人も住みやすい環境を作る <input type="checkbox"/> 潮来市の現状や課題を若い人が考えて改善できるようにする、考える機会を増やす <input type="checkbox"/> 子育て支援の充実とその周知 <input type="checkbox"/> 地域公共交通と医療制度を充実させる	<input type="checkbox"/> ICT・AIの導入により行政サービスをオンライン化 <input type="checkbox"/> テレワーカーの支援制度 <input type="checkbox"/> Wi-fi スポット <input type="checkbox"/> 継続した水環境保全 <input type="checkbox"/> 医師確保と医療施設のために資金投入する（国の補助金） <input type="checkbox"/> あやめ祭り・祇園祭などいたこの伝統を守ってほしい <input type="checkbox"/> 若い人が問題について考え引き継ぐ <input type="checkbox"/> 伝統を守ってほしい→地域の問題。自然の大切さに気づき、将来1人でも多くの人に潮来市の農業などに携わってもらおう。 <input type="checkbox"/> 地区ごとで交流会を生み出していくことができる環境を設定していく <input type="checkbox"/> 都心住民の移住獲得 <input type="checkbox"/> 子育てできない人をターゲットで保育環境を整備